

2016「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井に出展

(東京都支部)

去る10月9日(日)東京都小金井市の東京学芸大にて開催され、全体で104のブースがあり、東京都支部では、全国大会同様に「電波の反射、通過、波長を確かめよう！」をテーマで出展しました。

電波の性質等についての説明内容は7月の東京大会と同様ですが、説明者には、この装置等を作られた島田関東地方本部長や早稲田大学無線通信研究会メンバーらの協力により行なわれ、来場者に合わせた説明がされました。

また、地元の都立科学技術高等学校から4名のお手伝いがあり、お聞きしたところこの高校の無線クラブのメンバーで従事者免許を取得している方もおりました。今後個人局での開局を希望されておりましたのでJARLや東京都支部のPRもしました。

当日の朝は、雨が強く降り来場が心配されましたが全体的な来場者数は、約7500名とのことで、当ブースには約80名の方が来られ、電波の性質にあらためて興味をもたれていました。ここでも長蛇の列を作っていたブースは、工作しておみやげに持って帰れるところでしたので、東京都支部では、次回に向け来場者が簡単に工作でき、おみやげとなり、さらにJARLのPRとなる簡易電波チェッカー「J」を研究しています。

写真4 スタッフ集合写真



写真5 説明中の島田関東本部長



写真6 説明中の早稲田大学通信研究会メンバー他



報告者 JARL 東京都支部長 澤田倉吉 JG1DKJ